

平成 24 年第 3 回嬉野市議会定例会

一般質問通告書

嬉野市議会

平成24年第3回嬉野市議会定例会一般質問通告書

発言順番	議席番号	質問者氏名	質問事項及び要旨	頁番号
1	5	山口 政人	1 地域内分権の推進について	1
			2 水資源の確保等について	
			3 給食センターの統廃合について	
			4 下水道整備について	
2	16	平野 昭義	1 給食センター（塩田）問題について	2
			2 結婚支援課の取り組みについて	
3	2	山口 忠孝	1 自然エネルギーを活かした街づくりについて	4
			2 みゆき公園グランドゴルフの管理・維持等について	
4	13	神近 勝彦	1 コンビニを利用した証明書の交付について	5
			2 地域自主組織活動について	
			3 ネーミングライツについて	
			4 シーボルトの湯について	
5	8	梶原 陸也	1 課外のクラブ活動について	7
			2 通学路の安全対策について	
			3 防災対策について	
6	4	山下 芳郎	1 庁舎含め公共施設内の禁煙について	8
			2 I C T の活用について	
			3 新規大型施設のオープンから運用までの利用方法を問う。	
7	7	大島 恒典	1 嬉野市の工事入札について	9
			2 地域防災計画について	
8	10	副島 孝裕	1 新幹線駅周辺整備事業について	10
			2 地域コミュニティ活動における諸問題について	
9	3	田中 平一郎	1 給食センターについて	12
			2 いじめ問題について	
10	1	辻 浩一	1 水源確保について	14
			2 市道改良について	
11	11	田中 政司	1 観光問題	15
			2 行政問題	
			3 教育問題	
			4 茶業問題	
			5 市道改良問題	

12	17	山口 要	1 財政問題について	16	
			2 観光（戦略）問題について		
			3 健康増進について		
			4 道路問題について		
			5 教育問題について		
13	6	小田 寛之	1 災害時のスマートフォン活用について	19	
			2 イノシシ対策について		
			3 健康増進について		
一般質問日程		9月7日	山口政人、平野昭義、山口忠孝、神近勝彦、梶原睦也		
		9月10日	山下芳郎、大島恒典、副島孝裕、田中平一郎、辻浩一		
		9月11日	田中政司、山口要、小田寛之		

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24 年 8 月 21 日

通告者(議席番号 5 番)

山 口 政 人

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	地域内分権の推進について	住民の自治意識を高めるため、自治体の仕事と財源の一部を、地域住民の裁量にまかせる地域内分権の推進に取組むことについて、市長の考えを伺う。
市長	水資源の確保等について	近年海外資本による森林の土地取得が他県で行われていると聞くが、土地所有者によって地下水を大量に汲み上げられるといったことが行なわれれば、市民生活に影響がでてくることも考えられる。 嬉野市も例外ではないと思うが、市内の森林土地売買の規制か、水資源保全の条例を制定する考えはないか伺う。
市長 教育長	給食センターの統廃合について	6月議会でも質問をしたが、7月下旬に開催された「議員とかたろう会」で、塩田地区の各会場で塩田の給食センター廃止に対し、反対意見が出たが、このことについてどのように対処するのか考えを伺う。
市長	下水道整備について	下水道未整備地区の今後の計画で審議会が開催されていると思うが、工事着工はいつになるのか伺う。

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年8月21日

通告者(議席番号 16番)

平野昭義

嬉野市議會議長様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	給食センター(塩田)問題について	<p>6月議会で計画案を削除するよう厳しく質したが、市長は市民に理解して頂くよう説明して推進していくないと答弁された。</p> <p>教育長は経費の削減は喫緊の課題と考え、一本化を図りたいとの答弁をされている。</p> <p>この問題は、塩田町に建設から僅か9年しか経過しておらず、地権者の心情を傷付けつけるばかりでなく、塩田地区の市民を無視した計画である。また、成長期の子どもの健康問題を含め、単純に経費削減の問題ではない、子どもは次世代を担う「宝」である、特に少子化が進む今日、計画案は両地区にとってなんの合理性もなく、削除するのが当然と考える。</p> <p>1 7月の議員とかたろう会で、塩田地区4全会場でこの問題が続出し、塩田の給食センターの存続を求める意見が強く出されている。市長、教育長は真剣に受け止めるべきと考えるがどう対処するのか伺う。</p> <p>2 市長は過去6年間、市民全体に「歓声が聞こえる」市政をと、標榜されてこられたが発言とは矛盾していないか真意を質す。</p> <p>3 塩田地区の市民の大多数は計画に反対している、今後の行政運営を円滑に進めるためには、計画を削除すべきであると考えるが、真摯な答弁を求める。</p> <p>4 23年度から、定員の適正化が推進計画の中で明記されているが、全体としての方針、進捗状況を伺う。</p> <p>5 塩田町給食センターの地権者一人が8月20日ご逝去になり、生前、統合の話を聞いて保有米圃場として先祖からの財産であるので、元の圃場にして頂きたいと涙ぐんで語られました。</p> <p>市長は人の心を大切にして行くと申されますが、6月以降会ってお話しされたか。</p>

	市長 教育長	<p>行政にも血は流れ当然のことあります。市長の血の通った答弁を市民の前にして欲しい。</p> <p>平成23年7月地域づくり・結婚支援課が設置され、急速に進む少子化に夢と希望が持てる社会実現に担当課は努力されてこられ感謝している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在まで市内外の登録者数、(年齢・性別)などの状況、また、今後の取り組みについて伺う。</li> <li>2 専門家の話によると定期的に講演会などの開催で、結婚に対する意識が高まり成果があると聞くが、登録者を始め広く開催できないかと思うが取り組みを伺う。</li> <li>3 市、職員の中に該当者が多いと聞くが、講演会などに参加するよう奨めることはできないか、市長・教育長に伺う。</li> </ol>
--	-----------	--

様式1号

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年8月21日

通告者(議席番号 2番)

山口忠孝

嬉野市議会議長様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	自然エネルギーを活かした 街づくりについて	<ol style="list-style-type: none"><li>1 これから街づくりには欠かせない視点だと思う。その中で太陽光発電は一番取り組みやすいと思うがいかがか。</li><li>2 太陽光発電の公共施設への設置は率先して取り組んでいいと思うがどうか。</li><li>3 特に学校に設置すべきではないのか。</li></ol>
市長	みゆき公園グランドゴルフ の管理・維持等について	<ol style="list-style-type: none"><li>1 芝の管理はどのように行なっているのか。</li><li>2 芝を育成するために利用の休止期間を設けたらどうか。</li><li>3 外見上平坦に見えるが、かなりでこぼこがあるようだ。 その手入れはできないのか。</li><li>4 東側の谷の方を埋め立てて広げれば、もっと利用しやすくなるのではないか。</li><li>5 利用料金はどのようにになっているのか。</li></ol>

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年8月22日

通告者(議席番号 13番)

神近勝彦

嬉野市議會議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	コンビニを利用した証明書の交付について	<p>コンビニエンスストアを利用した証明書交付が、地方議会人7月号に掲載された。</p> <p>住民基本台帳カードを利用して、キオスク端末で自ら操作、取得することが可能である。まだ全国では46団体だが、年末までには更に11団体増え、57団体が参加する予定とのことである。</p> <p>本市においても参加すべきと思う。キオスク端末についての考えを聞く。また、佐賀県下の状況と参加した場合の費用はどの程度かかるのか。</p>
	地域自主組織活動について	<p>先進地である島根県雲南市の地域自主組織活動を調査してきた。本市もそれなりに活動されていると思っているが、雲南市の活動は更に上をいくものであった。</p> <p>そのなかで、集落支援員設置制度は、本市でも取り組む必要を感じたが導入について考え方を聞く。また、交付金についても地域面積の加算などがあった。本市ではどうか。</p> <p>話を聞く中で、大きな組織では活動が鈍くなると言われていた。本市においても嬉野や轟などは大きすぎると思うがどうか。</p> <p>次に、昨年の東日本大震災以降、全国でハザードマップの見直しがされているが、本市の状況はどうなっているのか。</p> <p>雲南市においても、各集落でハザードマップをつくり、様々な災害やその地域に応じた避難場所を指定されている。</p> <p>次に前回の予算で災害時の毛布などが計上されたが、その後はどのようにになっているのか。また、災害備蓄倉庫をつくることになっているが、備蓄についての考え方はどうなっているのか。</p>

通告者( 議席番号 13番)

神近勝彦

NO 2

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
	ネーミングライツについて	10月にみゆき公園の全天候型多目的広場が開園となる。現在、みゆきドームと書いてあるが、この施設や今年度工事が始まる文化体育館などにネーミングライツを利用して、少しでも財源確保を図る必要があるのではないか。
	シーボルトの湯について	指定管理者による管理に向け公募が始まったようだが、現在の条例の規定内容のままでの営業を考えているのか、考えを聞く。

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年8月27日

通告者(議席番号 8番) 梶原睦也

嬉野市議會議長様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	課外のクラブ活動について	<p>市内の小中学校ではクラブ活動が活発に行われてお り子供達の心身育成にとって重要な役割を果たしてい る。</p> <p>今後ともクラブ活動の充実が求められる中で、以下に ついて伺う。</p> <p>① 小中学校のクラブ活動の現状について ② クラブ活動費の収支内訳はどうなっているのか。 また、保護者の負担はあるのか。</p>
市長 教育長	通学路の安全対策について	<p>本年、各地で登下校時の児童が死傷する事故が立て続 けに発生したが、本市における通学路の安全は確保され ているのか伺う。</p> <p>① 危険な通学路の把握は出来ているか。 ② 通学路の見直しや点検は定期的になされているか。 ③ 交通安全条例の策定をすべきではないか。</p>
市長 教育長	防災対策について	<p>昨年東日本大震災が発生し大きな被害をもたらした。 その中で想定外ということが言われたがこの震災を受 けて地域防災計画の見直しが全国的行われている。</p> <p>本市においても新たな地域防災計画の策定をすべき と考えるがいかがか。</p> <p>学校での防災教育が大事だと考えるが、本市ではど のように取り組まれているのか伺う。</p>

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 24年 8月 27日

通告者(議席番号 4番)

山下芳郎

嬉野市議会議長 様

記

相手	質問の事項	質問の要旨
市長及び 教育長	1 庁舎含め公共施設内の禁 煙について	<p>① 庁舎内及び市が管理する公共施設での禁煙・受動喫煙防止策を 講じるべきではないか。</p> <p>② 小中学校の教育現場の現状の課題と方向性を問う。</p> <p>③ 禁煙を促す検診指導を推進すべきではないか。</p> <p>④ 伝統的建造物群保存地区及びシーポルトの湯を中心とした散策道 について「路上喫煙禁止条例」の制定は考えられないか。</p>
市長	2 I C Tの活用について	<p>① 電子決裁システムの推進の保留の理由と今後を問う。</p> <p>② ハンコから電子決裁に切り替えてスピード化の業務改善をすべ きではないか。(出勤簿のハンコも電子タイムカードへ)</p>
市長	3 新規大型施設のオープン から運用までの利用方法を 問う。	<p>① 社会文化体育館、全天候型屋内多目的広場、うれしの茶交流館等 新設の大型施設の名称は広く公募し P R すべきではないか。</p> <p>② イベントの収支の計上のあり方について。</p> <p>③ 利用者は市の活性化を図るために宿泊等市外客を優先する事で 税収を図るべきではないか。</p> <p>④ 社会文化体育館は原資が合併特例債から社会資本整備総合交付金 に変わることでイベント(催事)等の規制はなくなるのか。</p> <p>⑤ うれしの茶交流館の建設場所は嬉野インター前の市有地を活用す べきではないか。</p>

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年 8月 27日

通告者(議席番号 7番) 大島恒典

嬉野市議会議長様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	嬉野市の工事入札について	<p>現在厳しい経済情勢や公共事業の減少等により、低価格での落札が発生している。極端な低価格での契約は、品質の低下や下請けへのしわ寄せ、労働環境の悪化が懸念され、また市内業者の大型事業への参入を難しくしている要因にもなっている。</p> <p>このような中、地方の建設事業者全般において、倒産件数が高い状況で推移しており、嬉野市においても例外ではない、このことは地元の雇用情勢を悪化させるとともに大規模災害が発生した時の災害復旧の面においても大変危惧されるところである。</p> <p>この状況を踏まえ全国の自治体では最低入札(制限)価格の見直しが進んでいるが、嬉野市においての取り組みを伺う。</p>
市長	地域防災計画について	<p>佐賀県内においては福島での原子力発電所の事故以後、地域防災計画に新たに原子力災害についての対策を盛り込んだ計画が策定されている。嬉野市としての取り組み状況について伺う。</p>

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年8月27日

通告者(議席番号 10番)

副島孝裕

嬉野市議会議長様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	新幹線駅周辺整備事業について	<p>平成20年3月、新幹線西九州ルート「武雄温泉～諫早間」の着工が認可され、嬉野市内においては、トンネル掘削をはじめ、着々と工事が進められている。</p> <p>また、今年6月には「諫早～長崎間」の正式着工が認可を受け、西九州ルートの全線整備が決定した。</p> <p>嬉野市においては、着工認可に合わせて、「新幹線駅周辺整備基本構想・基本計画」を策定し、開業前の整備に向けての対応を進めているが、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新幹線駅周辺整備事業の進捗状況について伺う。</li> <li>2 基幹的な事業の手法として、土地区画整理事業で進められているが、メリット・デメリットについて伺う。</li> <li>3 嬉野医療センターの移転構想が新幹線駅市街地側に計画されているが、移転計画による新幹線駅周辺整備事業への課題と対応について伺う。</li> <li>4 「嬉野市総合計画」にある人口の目標値は、平成29年に約28,800人と設定してあるが、本年7月末現在で28,449人と人口減少は想定以上に進んでいる中で、この総合計画には新幹線については、あまり触れられていない。約10年後の開業に向けて、新幹線駅周辺整備事業や嬉野医療センター移転構想は当市にとって重要なプロジェクトであり、「総合計画」の見直しをすべきと思うが如何か。</li> </ol>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	地域コミュニティ活動における諸問題について	<p>嬉野市においては、市内全域に小学校を基本とする校区において、地域コミュニティ運営協議会が設立された。モデル地区として先行して設立された久間、大草野、吉田地区は4年目、五町田地区は3年目を迎えるが、昨年度から設立された轟・大野原、塩田、嬉野地区とそれぞれに多くの課題をかかえながら、推進をして頂いているが、以下について伺う。</p> <p>1 各コミュニティ協議会の共通する課題、また、独自の課題について伺う。</p> <p>2 「自主防災組織」の取り組みについて、地域計画スケジュールの時期に差があり、行政の指導が必要と思うが如何か。</p> <p>3 地域計画の中に、コミュニティセンター建設の取り組みがある協議会が何か所かあるが、対応は如何か。また、この場合コミュニティ助成事業補助金交付の対象になるか伺う。</p> <p>4 コミュニティセンターの指定管理者制度の導入について、活動を推進していくためには早急に取り組むべきと思うが如何か。</p> <p>5 市内全域で活動が始まり、今後の活躍が期待されるが、費用の面で苦慮されている。地域コミュニティ交付金の基本額を見直し、事業の取り組みが積極的に推進できる交付金の増額はできないか伺う。</p>

様式1号

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年8月27日

通告者 (議席番号 3番) 田中 平一郎

嬉野市議会議長様

記

質問の相手	質疑の事項	質問の要旨
市長 教育長	給食センターについて	<p>7月23日から、議員と語ろう会が4日間開かれ、私は塩田地区の4会場に出席したが、4会場全ての会場において、給食センターの問題に対する意見が出た。何故、塩田の給食センターを廃止する案を計画の中に入れたのか、厳しく撤回してほしいとの意見が多かった。</p> <p>6月議会で同僚議員2名の方が一般質問で計画の中止、削除を求められている。私も建設から9年しか経過していないセンターを廃止することは塩田地区の市民の感情に大きく問題を投げかけていると考える。</p> <p>1 もし、給食センターを統合すれば、塩田の児童・生徒に給食の時間的な問題が生じるのではないか。</p> <p>2 北海道で発生した食中毒のように問題が発生しないとは限らない、保護者の心境は。</p> <p>3 この問題は、給食委員会やPTAに説明、協議するのみでなく、広く区長会等にも意見を求めるべきではないのか。</p> <p>4 第2次行財政改革は、経費の削減を中心課題としている。市長は幅広く有識者の意見を聞くべきではないのか。</p> <p>5 強行的な行政運営を押し付けると、円満な市の行政も大きな亀裂が生じると考える。中止すべきではないのか。</p>

質問の相手	質 疑 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長 教育長	いじめ問題について	<p>今、いじめが全国的に問題になっている。これは今始まったことではなく、昔から大小に関わらずあってきたと思う。しかし、ここまでいじめが社会問題になると、嬉野市としても、その対策に真剣に取り組むべきと考える。</p> <p>本市における学校のいじめに関する基本的認識と取り組みはどのようなものがあり、どのようになされているのか。</p> <p>以下のような内容が忠実に認識され、また実行されているのか伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 全ての学校、教職員が自らの問題として切実に受け止め「いじめは絶対に許されるものではない」との強い認識をもつこと。</li> <li>2 いじめられる子供の立場に立った親身の指導を行うこと。</li> <li>3 いじめは家庭教育の在り方に大きな関わりを有していることから、家庭との連携を図ること。</li> <li>4 いじめの問題は教師の児童、生徒観や、指導の在り方が問われる問題であるとの認識を持つこと。</li> </ol>

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年8月27日

通告者(議席番号 1番)

辻 浩一

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	水源確保について	<p>1 近年、北海道を中心に外国資本による水源地上流付近の山林売買が顕著化し、水源確保を目的とした行為ではないかと疑念が持たれている。そこで、北海道をはじめ全国各地で水資源確保の条例が制定されている。当市も浄水場上流に広大な山林を有しており、水資源確保のための条例が必要ではないかと思うが市長の考えを伺う。</p> <p>2 戦後針葉樹の植林が推奨され大きく成長しているが、広葉樹に比べ保水能力や手入れ不足による山林の荒廃により長期的な視点で考えると水不足が懸念される。そこで、長い伐採サイクルの中で広葉樹の植栽割合を増加すべきと考えるがいかがか。</p> <p>3 広葉樹（どんぐり等実のなるもの）の植栽により元の生態系に戻り、イノシシなど人里や農地に出没する機会が減少するのではないかと考えるがいかがか。</p>
市長	市道改良について	<p>1 市道東吉田両岩線は鹿島方面への通勤で朝夕の交通量が多い。順次改良がなされているが、両岩起点より 20m程度幅員が狭く、幅 1 メートルの無蓋の水路が沿っている箇所がある、これを有蓋の水路に改修出来ないか伺う。</p> <p>2 同じく両岩・宮の上線の法面部分が崩落し、コンクリート舗装の中までえぐれています箇所が全線的にある、民家も多く離合の際、舗装面が損壊し転落の危険性がある。早急の措置が必要ではないかと思うがいかがか。</p> <p>3 九州北部豪雨があり多くの犠牲、被害が発生した。このことは当市においても今後予想される事であり、防災に心がけなければならない。谷所地区の殿ノ木場は一本道の袋小路になっており、道が寸断されると孤立してしまう。防災の観点から両岩殿の木場線の改良が必要ではないかと考えるがいかがか。</p>

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年8月28日

通告者(議席番号 11番)

田中 政司

嬉野市議會議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	観光問題	<p>1 シーボルトの湯を指定管理者制度へ移行するための募集が8月末を期限に行われているが、現在の状況を伺う。</p> <p>2 「うれしのほほん湯・遊・Y o u」や「嬉野川恋唄」「塩田音頭」など、嬉野市に関係する楽曲は、現在何曲ぐらい存在し、どのように活用しているのか。</p>
市長	行政問題	<p>1 2008年4月に導入されたふるさと納税制度であるが、本年度の現在までの実績と取り組み状況は。</p> <p>2 災害時の断水を想定し、民間の井戸を利用するための処置をとっている自治体もあるが、市でも取り組む考えは。</p>
市長 教育長	教育問題	先日、本年度の「全国学力テスト」の結果が公表されたが佐賀県は全国平均をクリアできなかった。嬉野市内の小中学校における結果（全国や県との比較）は。また、その結果を受けての市長・教育長の見解を伺う。
市長 教育長	茶業問題	<p>1 茶園基盤整備推進事業（市単独）や国の茶改植支援事業により、市内の老朽茶園は改植が進んでいるが、今までの実績と今後の計画についての考え方を伺う。</p> <p>2 本年3月に「茶業及びお茶の文化の振興に関する基本方針」が発表され、その中において消費拡大に向けた取り組みで「お茶を活用した食育の推進」があげられている、茶産地の取り組みとして学校給食へのお茶の活用は考えられないか。</p>
市長	市道改良問題	市道丹生川俵坂線については幅員が狭いが、以前施工された圃場整備によって、幅員拡幅のための用地買収が行われていると聞くが現在の状況は。

# 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年8月28日

通告者(議席番号 17番)

山口要

嬉野市議會議長様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1 財政問題について  2 観光（戦略）問題について	1 新公会計システムについて ① このシステムの調査を業務委託した経緯とその成果、また、これまでの調査に対する所見を問う。 ② 今後については見直し等を含めて再検討の必要があるのではないか。  2 外部監査について ① 導入に向けての検討を含め、これまで導入されている他都市の状況等を調査したことがあるか。 ② 今後の導入に向けての考え方はどうか。  3 臨時財政対策債について ① 過去の発行額に対する交付税措置は100%措置されているものと考えていいのか。また今後の返済に伴うなかで、基金の積増し等の対応をしておくべきではないか。 ② 今後の発行に対する考え方。  4 給与問題について ① 現状におけるラスパイレス指数はどうか。 ② 財務省は地方公務員の給与削減の方針を定めた。本市はどう対応していくのか。  1 観光協会や旅館組合との関連を強化する意味で、観光商工課との同一フロア設置や、観光戦略室等、組織の見直しを検討してはどうか。 2 観光戦略それぞれについて ① ゆるキャラ「ゆつづらくん」の関連グッズの開発等を含め、PRキャラクターとして積極的に活用展開すべきではないか。

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	3 健康増進について	<p>② 嬉野の知識を深め、また知ってもらうために「嬉野検定」制度導入に向けて取り組んではどうか。</p> <p>③ 「嬉野温泉の日」「嬉野温泉湯どうふの日」「嬉野茶の日」等、独自に設定して観光宣伝に結び付けていくことも一計ではないか。</p> <p>④ 「ふるさと大使」や「ふるさと会」等との現状における連係はいかに図られているか。</p> <p>⑤ 川柳、短歌、俳句等を観光に結び付けていくことは考えられないか。</p> <p>⑥ 若手職員による「総合観光計画」の、その後の動きはどうか。</p> <p>1 厚生労働省が都道府県別の「健康寿命」を算定した。本市における「健康寿命」と「平均寿命」はどれくらいか。</p> <p>2 特定検診について</p> <p>① 担当課の懸念なる努力にも拘わらず受診率の向上がみられない。その主たる要因は何か。</p> <p>② 本人負担を無料にすることは考えられないか。</p>
市長 教育長	4 道路問題について	<p>1 高度成長期以来、交通安全の「切り札」として設置された歩道橋が撤去されるケースが相次いでいる。本市における歩道橋の利用の現状と、今後の考え方はどうか。</p> <p>2 通学路について</p> <p>① 本市の歩道整備率はどれ位か。また、通学路の緊急合同点検によって抽出された危険個所はあったのか。</p> <p>② 今後の安全策についてどう対応していく考えか。</p>
市長 教育長	5 教育問題について	<p>1 いじめ問題について</p> <p>① 本市の現状はどうか。また大津市の事件以降再調査はされたか。</p> <p>② 指示や報告等含めて、教育委員会と現場との意思の疎通は図られているか。</p> <p>③ 今後について、指導方法を含めどのように対策を講じていく考えか。</p>

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
		<p>2 組織体制について</p> <p>① 市執行部と教育委員会、また教育現場との位置づけをどう捉えているか。</p> <p>② 市と教育委員会のあり方で「大阪モデル」「鳥取モデル」それぞれの取り組みに対してどのように考えているか。</p> <p>3 学力テストについて</p> <p>① 本市の結果状況はどうか。</p> <p>② 今回の結果における課題として考えられるものは何か。また、そのことに対してどのように取り組む考えか。</p>

## 一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成24年8月28日

通告者(議席番号 6番)

小田 寛之

嬉野市議会議長様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	災害時のスマートフォン活用について	<p>1 火災時の消防団用として      5月4日の火災時に消火活動に向かう消防団は防災無線の内容だけで火災現場が特定できず、私が在籍する機庫からわずか500メートルであっても分かりづらい状況だった。現在の防災無線による緊急放送の方法(番地や個人宅名を言わない)になり、「議会でも何回となく改善するよう指摘されてきたことだが、個人情報を放送できない、予算的に厳しい等、様々な問題で改善されていない。</p> <p>そこで、携帯電話所持者の中でスマートフォン利用率が増えることを考え、GPSとマップを使った瞬時にピンポイントで場所を特定し案内できるシステムを構築できないか。</p> <p>2 災害時の避難誘導として      避難誘導のナビゲーションのアプリも大学等で開発されている。当市単独で導入は厳しい面もでてくると思うが、研究検討はできないか。また、単独でできない部分は広域での連携で導入するよう働きかけができるないか。</p>
市長	イノシシ対策について	<p>当市もイノシシ対策として様々な取り組みを行っているものの抜本的な解決には至っていない。</p> <p>イノシシを使った商品作りに力を注いでいる自治体等は多数あるものの、食べる文化がないために売れてないのが実態であると考える。イノシシはジビエとして国によっては高級食材である。抜本的対策として当市において『食べる文化』を創って対応できないか。</p>

## 様式2号

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	健康増進について	人間が健康であるのは自分自身のためではあるが、健康な市民が増えれば逼迫した国保の問題も解決できると考える。健康増進の一貫として、健康な方に表彰するなどインセンティブを与えられないか。